

土木学会 地震リスクと事業継続性に関する小委員会  
第 5 回 WG-2:地震リスクマネジメントとリスクファイナンス  
議事録

日時	2009年7月3日(金)15:00-17:00
場所	構造計画研究所 新館1階 プレゼンテーションルーム
出席者	吉川、小丸、中村、大峯、村地、吉松、山田 7名 欠席5名(兼森、神田、小路、宮島、矢代)(以上、敬称略)
配布資料	資料5-1:第4回WG-2議事録 資料5-2:SRM&BCPシンポジウム概要(吉川) 資料5-3:自治体SRMのケーススタディ資料(中村) 資料5-4:製造業SRMのケーススタディ資料(小丸) 資料5-5:電力事業者SRMのケーススタディ資料(山田)

1. 前回議事録の確認(資料5-1)
2. SRM&BCPシンポジウムについて(資料5-2)
  - 平成21年11月10日(火)に第1回地震リスクマネジメントと事業継続性シンポジウムを開催することを決定
  - 小委員会WG報告(午前)と一般発表(午後)の2部構成
  - WG報告は3Groupで2時間(WG1:45分、WG2:45分、WG3:30分程度)を予定
  - 報告書に関して
    - フォーマットはWG1に従う
    - WG2報告書のボリュームは30ページ程度を目安として応変に
    - WG2報告書の構成(案)は、
      - 緒言(執筆担当:幹事)
      - リスク都市の説明(執筆担当:幹事)
      - ケーススタディ(自治体、製造業、商業、電力の4ケースを中心に)
      - 総括(執筆担当:幹事)
    - 報告書作成の締切りは9月末を目標
  - 詳細に関しては、次回小委員会(7/28)で確認
3. 各モデルケースについて(資料5-3~5-5)

各担当委員よりモデルケースの概要を説明いただき、問題・今後の方向性等を協議した。主な意見は下記のとおり。

  - 定量化することにより、リスク対策の効果が明確に示される。
  - モデルケース毎に、それぞれのSRMの特性が示されていて良い。
  - 電力や交通機関などインフラ関係の機関がSRMを実施することで、商業などのリスクが軽減されることが示せれば面白いのでは。
  - 発生確率と被害規模が異なる3つの想定シナリオに対して、どう対応して行くのか。

4. 次回会合
- 小委員会 : 7月28日(火) 14:00-17:00(土木学会 A 会議室)
  - WG-2(第6回) : 9月24日~30日で別途調整
  - 第1回シンポジウム : 11月10日(火) 10:00-17:30(土木学会 2F 講堂)

WG-2 幹事:村地、山田(記録)